

銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name 国土無双	e-mail
Title	
Message	
<input type="text"/>	
<input type="button" value="とうこう"/>	

[1743] 障害者自立支援法 廃止すぐ② 2009年12月28日 21時26分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

次の記事です。

作業所でも利用料が 京都

京都では、障害者団体や労働組合、民主団体、府民で「障害者自立支援法に異議あり、『応益負担』に反対する実行委員会」をつくり活動しています。自立支援法による応益負担を押しつけられ障害者が苦しめられている実態、自立支援法廃止を訴える街頭宣伝、集会、パレードなどが取り組まれています。

10月5日の集会アピール「応益負担は障害者福祉になじまないの一点でまとまってきた私たちは応益負担をすぐに廃止、自立支援法廃止…」を京都選出の国会議員へ届けて要請もしました。

自立支援法は憲法に違反しているとの訴訟も進められています。9人の障害者が原告になっています(福知山市1人、亀岡市6人、京都市2人)。弁護士が16人、賛同人と呼ばれる「障害者自立支援訴訟の勝利をめざす京都の会」(4月1日結成)の会員は1300人を超えています。きょうされんなどの障害者団体、民医連や歯科保険医協会などの医療団体が役員会に諮るなどして賛同人を集めてくれました。

法廷で障害者の父親は、子の社会生活の場である作業所の維持、発展のために必要なお金を必死につくってきた歩みを述べ、「(子が)そこに通うのに利用料をとる血も涙もない仕打ちは許せない」と話しました(6月1日)。障害者の女性は「作業所に通い、念願のケアホームに入って生きる喜びを得てきた。障害がどんどん進行して、自分も母もますます生活しにくくなってきている。生きることへの利用料応益負担あまりにもひどい」と訴えました。(8月24日)

街頭宣伝、講演などを行い世論と運動を広げ、政府との話し合いを注目しながら2月15日の口頭弁論を成功させようと考えています。(障害者自立支援法訴訟の勝利をめざす京都の会事務局長 池添素)

[1742] 障害者自立支援法 廃止すぐ① 2009年12月28日 21時24分

国土無双さん e-mail

今晚は、国土無双です。

私は31日まで仕事です。
今日、銀杏からメールが来て明日まで、銀杏は開所するとの事ですね。
良い年が迎えられるよう、何とか乗り切ってください。

ところで、障害者自立支援法に関する、赤旗の記事がありましたので書き込みます。

「生きる」に重い負担
応益負担撤廃へ運動さらに

障害者・家族は障害者自立支援法で重い負担を強いられています。障害者施策を受けると、利用料を応益負担として払わなければなりません。一刻も早く自立支援法廃止をの運動が広がっています。障害者が原告になって自立支援法違憲訴訟も行われています。

[1740] 障害者総合福祉法粉碎へ? ② 2009年12月26日 10時41分

レオンさん e-mail

(「障害者総合福祉法粉碎へ? ①」から続く)

叫んでいる。

改革推進本部が飛びつこうとしている障害者総合福祉法はさらなる改悪だ。障害者の応能負担を固定化し「障害者参加」の名の下で公務員制度解体＝介護事業の一層の民営化を進める。批判が強かった「障害認定区分」を廃止し「支給量決定」を障害者主導で行うという。一般学級にも障害者参加を増やすという。予算が膨大にあるという前提ではもっともらしい。だが実態は、「事業仕分け」と同様に労働者の首切り・非正規化、大增税と一部の特権的障害者への権限委譲に他ならない。介護認定では「ソーシャルワーカー専門調査員」を新設するというが、起こることはまたぞろ外注化や非正規職増大だ。さらに「社会参加(保障)カード」も導入する。税と年金の一体化をめざし支払いがなければ年金も医療も福祉も得られないという新たな応益負担の導入だ。また後期高齢者医療制度の廃止後の代案である「地域医療保険制度」との一体化すら狙われている。保険料の企業負担や国庫負担をそぎ落として被用者保険を解体し、個々独立の国保に横並びさせ、地域ブロック内の保険料に応じてしか受給できない仕組みへの転換だ。

さらに道州制導入、社会保障丸ごと解体を貫くために、障害者虐待防止法や障害者差別禁止法までセットで吹聴している。しかしそれは障害者問題を一層ブルジョア道

徳問題に切り縮め、差別の根本にある雇用破壊や団結破壊と闘わず、労働者の解放の中に障害者解放があることを粉碎していく攻撃だ。検修職場全面外注化阻止の国鉄決戦を民営化粉碎の先端で闘い、階級的労働運動の復権をかけて障害者総合福祉法粉碎の総決起を切り開こう！（YH）

<http://www.zenshin.org/index.htm>
<http://www.zenshin.org/blog/index.html>

「こういう障害者総合福祉法を作ろう」というなら分かります。でも、まだ出来てもないのに、「障害者総合福祉法を粉碎しよう」というのは、ちょっと「おかしい」のではないのでしょうか。

[1739] 障害者総合福祉法粉碎へ？ ① 2009年12月26日 10時32分

レオンさん e-mail

中核派(内ゲバ党派)のホームページの、「速報」という部分の、下の方の「主張」という部分に、次のような記事が載っていました。

2009年12月10日11:01

自立支援法即時廃止！さらなる改悪の障害者総合福祉法粉碎へ！

12月8日閣議で「障がい者制度改革推進本部」の設置が決定された。鳩山を本部長に、平野官房長官と福島瑞穂特命大臣(障害者施策)を副本部長にすえた体制だ。この本部設置の核心は、政権延命のために社民党をつなぎ止めると同時に20人とされる参与(非常勤公務員)の過半数に民間障害者委員を登用し、既存障害者団体幹部を民主党・連合政権に取り込んで、戦争・改憲、民営化・労組破壊の上に道州制、社会保障制度解体をあくまでも貫こうとする攻撃だ。派遣村村長の湯浅誠を国家戦略室の参与に投入したことと同じである。すでにDPI(障害者インターナショナル)・JIL(自立支援センター)幹部で弁護士の東俊裕が障害者として事務局長に内定している。

労働者階級は障害者と共に自民党政権を打倒し、国鉄1047名解雇撤回闘争を軸に新自由主義攻撃と闘い、障害者自立支援法の撤回表明にまでこぎつけた。今年の10・30自立支援法撤廃集会においても、主催者の政権頼みという大裏切りに直面したが、1万人の参加者は11・1労働者集会の呼びかけに脈打ち、呼応した(門前情宣で国鉄署名230、チケット33枚)。

障害者自立支援法は介護保険制度や支援費制度を助走に2006年施行。公務員ヘルパーを廃止し規制緩和の下、大量の非正規・無権利ヘルパー労働者を生み出した。介護事業の民営化と一体で障害者への1割応益負担を迫り、国庫負担削減と自助努力を強制し、怒りの中でとん挫したのだ。このとき自立支援法廃止の声は応能負担への回帰ではありえず、介護福祉の全額国庫負担化・無料化が当然だ。労働者も障害者も家族や支援者と一緒に生きていけるだけの社会保障費を含んだ大幅賃金を寄せよということだ。しかも政府は未だ自立支援法の廃止は掲げていない！「4年がかりの-spanを見てくれ」と
 (「障害者総合福祉法粉碎へ？ ②」へ続く)

[1738] 阿久根市長の差別記述に対する抗議② 2009年12月24日 6時49分

レオンさん e-mail

生まれること自体が、社会の誤った認識によって脅かされ続けた歴史を持っています。そして今なお、この誤った認識の下で苦しんでいる仲間たちは少ないだけでなく、「障害」を理由として、まさに生命を奪われてしまう事例が後を絶ちません。このような事態は、いかなる理由をもってしても正当化することは許されません。

2006年に国連で採択され、2008年に発効した「障害者権利条約」は、わが国政府も署名しているところです。この条約では、障害のある人は固有の尊厳をもち、差別を受けることがなく、社会に完全に受け入れられることが明言され、また特に生命に対する権利や、障害のある子どもの権利を尊重する旨が定められています。

この条約は、市民一人ひとりの認識を問うだけではなく、社会のあり方に変革を求めるものであり、障害のある人もない人も等しく参加できるよう、社会が変わることによって、障害を理由とした差別が本質的に解消することを求めています。

こうした障害者権利条約の精神に照らして、国や自治体が担うべき責務は明らかであり、市長という公職にある貴殿が今回公表した記述は、まったくの論外と言わざるを得ません。ただちに全面的に撤回し、謝罪することを求めます。

<http://www.normanet.ne.jp/~jdf/yobo/20091221.html>

この記事は、「さよなら！障害者自立支援法 つくろう！私たちの新法を！10.30全国大フォーラム」の掲示板を見て、私は知りました。

<http://6323.teacup.com/1031/bbs/852>

[1737] 阿久根市長の差別記述に対する抗議① 2009年12月24日 6時43分

レオンさん e-mail

日本障害フォーラム(JDF)のホームページに、次のような記事が載っていました。

2009年12月21日
鹿児島県阿久根市長
竹原 信一 様

日本障害フォーラム(JDF)
代表 小川 栄一

阿久根市長の差別記述に対する抗議

私たち日本障害フォーラムは、全国規模の13の障害者団体・関係団体から構成され、国内の大多数の障害関係団体が何らかの形で参加している組織です。先ごろ市長がそのブログの中で、「高度医療のおかげで以前は自然に淘汰された機能障害を持ったのを生き残らせている。結果 擁護施設に行く子供が増えてしまった。」と書き込んだことが報じられています。

このような記述は、市民の障害者に関する見方を著しくねじ曲げるだけではなく、障害者が社会で尊厳をもって生きることが否定する以外の何ものでもありません。障害者に対するあからさまな差別発言であり、断じて容認できません。ここに強く抗議しま

す。

これまで障害者は、生活のさまざまな場面で差別を受け、障害をもって生きること、

[1736] 鹿児島・阿久根市長:差別記述問題 市議会が市長に「謝罪要求決議」

2009年12月20日 19時52分

レオンさん e-mail

インターネットの「毎日JP」に、次のような記事が載っていました。

鹿児島・阿久根市長:差別記述問題 市議会が市長に「謝罪要求決議」

阿久根市議会は18日の最終本会議で、ブログに障害者への差別的記述をした竹原市長に対する「謝罪要求決議」など3決議を賛成11、反対4で可決。「障害を持つ方々と家族に計り知れない精神的苦痛をもたらしている」と批判、市民と国民への謝罪と責任を明らかにするよう求めた。県議会も17日、市長の「非難決議」を全会一致で可決している。【馬場茂】

毎日新聞 2009年12月19日 東京夕刊

<http://mainichi.jp/select/wadai/news/20091219dde041010024000c.html>

この記事は、「さよなら！障害者自立支援法 つくろう！私たちの新法を！10.30全国大フォーラム」の掲示板を見て、私は知りました。

<http://6323.teacup.com/1031/bbs/847>

[1735] 鹿児島・阿久根市長:また差別語 抗議に反論、ブログは記述修正 2009年

12月20日 19時41分

レオンさん e-mail

インターネットの「毎日JP」に、次のような記事が載っていました。

鹿児島・阿久根市長:また差別語 抗議に反論、ブログは記述修正

鹿児島県阿久根市の竹原信一市長(50)が18日、障害者への差別的記述に対する抗議に訪れた障害がある熊本県議らに対し「『めくら千人、めあき千人』との言い回しがあるが、どう言えばいいのか」と差別用語を持ち出して反論していたことが、関係者への取材で分かった。竹原市長は就任直後のブログにも同様の言葉を記載していた。市長は同日「差別的記述」と批判された11月8日付ブログの一部を削除した。県議らは「絶対に使ってはいけない言葉。残念でならない」と反発している。

抗議したのは、障害がある全国の議員らでつくる「障害者の政治参加をすすめるネットワーク」(入部香代子代表、30人)。平野みどり熊本県議(51)ら3議員が18日正午過ぎ、車椅子で訪問し竹原市長と非公開で面会した。

出席した村上博・熊本市議(59)によると、平野県議が「差別するつもりはなくても、

相手が傷つけば差別になる」と指摘。これに対し、市長は「それでは『めくら千人、めあき千人』との言い回しがあるが、どう言えばいいのか。言葉を制限すると文化がしぼむ」などと持論を展開した。また、平野県議が「『視覚障害者』と言うべきだ」などと言うと「そういうふう言うんですか」と答えたという。

「めくら千人……」は「世の中には道理の分かる人もいるが、分からない人もいる」という意味で、差別的表現とされる。

08年9月27日付のブログで、市長は「過剰に反応している方がおいでのようだ」とし、差別的表現でないとする一文を引用していた。

また、批判を招いた11月8日付の「差別的記述」について市長は県議らに「意図がはっきり分かる表現に修正します」と約束したが、謝罪要求には「政治家がこの問題に触れることがタブーになる」などと繰り返し拒否の姿勢は崩さなかった。【福岡静哉】

毎日新聞 2009年12月19日 東京夕刊

<http://mainichi.jp/select/seiji/news/20091219dde041010021000c.html>

この記事は、「さよなら！障害者自立支援法 つくろう！私たちの新法を！10.30 全国大フォーラム」の掲示板を見て、私は知りました。

<http://6323.teacup.com/1031/bbs/847>

[1734] 今年は波乱万丈の一年でした（一一） 2009年12月17日 20時25分

ブルーアイズさん e-mail

こんばんは。ブルーアイズです。

あと約2週間で今年も終わりですね。

ブルーアイズにとって今年は激動のそして波乱万丈の一年でした。

バザーの実行委員を某職員さんに無理やり…

いや、親切にも良い経験になるからと勧められてやり、

ヒーコラ、ヒーコラ言いながら3ヶ月がんばりました。

そのすぐあとにはく〇〇さんとみ〇〇さんの歓送迎会の実行委員もやりました。

バレーボールの練習で不注意から足首を捻挫もしてしまいました。

まさに今年前半はヒーコラ、ヒーコラ言う半年間でした。

そして17年銀杏にいましたが、とうとう仕事探しをする気になり、

合同面接会に参加したもののどこからも雇ってもらえなかったですが

職員さんから紹介された会社に面接に行ったところ

職場実習、トライアル雇用、そして正式採用とあれよあれよと話は進み

今年前半のつらかったことがなんだか信じられないような気持ちです。

まさに波乱万丈の一年でした。

みなさんにとってはどんな年でしたか。

それでは今年もあと2週間あまり。

寒さにも負けずにがんばりましょう。それでは。

[1733] 阿久根市長のブログ、「命軽んじている」 鹿児島県議会が非難決議へ

2009年12月15日 22時0分

レオンさん e-mail

インターネットの「産経ニュース」に、次のような記事が載っていました。

阿久根市長のブログ、「命軽んじている」 鹿児島県議会が非難決議へ
2009.12.11 18:12

自身のブログで示した持論に障害者団体などから抗議が相次いでいる鹿児島県阿久根市の竹原信一市長に対し、同県議会の環境厚生委員会は11日、「人間の生命の尊さをあまりにも軽んじている」と非難する決議案を17日の本会議に提案することを決めた。

竹原市長はブログで「高度医療のおかげで以前は自然に淘汰(とうた)された機能障害を持ったのを生き残らせている」と主張。これに対し、委員会は「差別としか取れない表現」「生きる権利や幸福を追求する権利を否定する」と指摘。「障がい者に対する偏見のない社会の実現に向けた決議案」として「障がい者や関係者に謝罪することを強く望む」とまとめた。

阿久根市議会でも18日の本会議で竹原市長に謝罪を求める決議案が賛成多数で可決される見込み。

<http://sankei.jp.msn.com/politics/local/091211/lcl0912111815002-n1.htm>

この記事は、「さよなら！ 障害者自立支援法 つくろう！ 私たちの新法を！ 10. 30 全国大フォーラム」の掲示板を見て、私は知りました。

<http://6323.teacup.com/1031/bbs/841>

まえのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

1743



記事削除

powered by **du one**
NET